

令和5年度 後期

政務調査研究報告

日本共産党 飯田市議団
市瀬 芳明

報告事項

- | | | | |
|----------|-------------|---------|-----------------|
| 1) 11月6日 | 13:00~14:30 | 福岡県八女市 | 「まちのコイン」事業 |
| 2) 11月6日 | 15:00~16:45 | 福岡県大木町 | 「循環のまち大木町の取り組み」 |
| 3) 11月7日 | 10:00~11:45 | 福岡県みやま市 | 「つくろう資源循環の環」 |



八女市イメージキャラクター
「みどりちゃん」



大木町イメージキャラクター
「くるっち」



みやま市マスコットキャラクター
くっぴー

*キャラクター使用要綱に即して利用

八女市地域活性化推進プラットフォーム事業

「大自然や歴史、伝統をつないでにぎわうまち」

「まちのコイン」

つかおう
もらった「ロマン」は、まちのさまざまなポイントが所属した「コミュニティ通貨」の単位に「ロマン」がもらえます

もらおう
お店のちょっとしたお手伝いごとや、まちを盛り上げる活動に参加すると「ロマン」がもらえます

たのしもう
「ロマン」のやり取りを通じて、まちのつながりが深まり、新しい人との出会いや新たなつながりが生まれます

八女のコインは ロマン

まちのコインは、使えば使うほど、人と人が仲良くなるコミュニティ通貨(地域通貨)サービスです。コインを「もらう」のも、「つかう」のも、地域の仲間と「つながる」必要があります。利用されればされるほど、地域内外の人がつながっていくコインです。

まちのコインを スマホにインストールして始めよう

参加条件 「ロマン」を利用していただける方

iPhoneの方 Androidの方

参加しているお店やプロジェクトをチェック!
<https://coin.machino.co/regions/yame>

八女市企画部定住対策課 町並み景観係
© KAYAC Inc. All Rights Reserved.

「ロマン」のつかいかた・もらいかた

お店のちょっとしたお手伝いごとや、まちを盛り上げる活動に参加すると「ロマン」がもらえます。もらった「ロマン」は、お店やまちの施設、イベントなどが用意した「特別な体験」のチケットにつかえます。

たとえば…

つかう

もらった「ロマン」は、まちのさまざまなポイントが所属した「コミュニティ通貨」の単位に「ロマン」がもらえます

もらおう

お店のちょっとしたお手伝いごとや、まちを盛り上げる活動に参加すると「ロマン」がもらえます

まちのごはん屋
朝ごはんの裏メニュー(バスを200ロマンで!)
● 200
● 800m ● 8時~10時

まちの焼肉店
みんなでまちをキレイにしよう!
ゴミを拾って100ロマン
● 100
● 1.5km ● 10時~18時

その他の「つかう」チケット例

産業予定のものを再利用
● コーヒーのかすを消臭剤に100ロマン
● 産業予定の産材200ロマン

特別な体験
● 若旦那と1時間お話し500ロマン
● レンタサイクル1時間1500ロマン

特別メニュー
● 八女茶ポトリング100ロマン
● 内職のメニュー教えます50ロマン

その他の「もらう」チケット例

お手伝いごと
● 得意なことを活かしたら1000ロマン
● 庭づくりのお手伝いで2000ロマン

環境によいこと
● 完食したら100ロマン
● エコバッグ持参で200ロマン

つながりづくり
● 店主を褒めてくれたら100ロマン
● インスタに投稿すると100ロマン

※まかないや特別メニュー等の代金は現金でお支払いが必要です。それらを注文できる権利を「ロマン」で買うことができます

「人と人」「人と地域」のつながりを増やす取り組みとして、西鉄バス福島停留所に、コミュニティライブラリーを併設した「つながるバス停」の企画およびコミュニティ通貨(地域通貨)サービス「まちのコイン」の取り組みを開始しました。

本事業は、八女市が抱える人口減少や山間部の過疎問題解決のために、地域コミュニティの持続的な賑わいや地域や地域の人と多様に関わる「関係人口」を増やす取り組みが有効と考え企画されました。コミュニティ通貨「まちのコイン」の導入は市町村単独での事業としては、八女市が日本で初の導入となります。

また、「まちのコイン」は「つながるバス停」内でも利用でき、コミュニティ通貨が利用できるコミュニティライブラリー併設のバス停は、日本初の事例となります。



バス停空間の有効活用
近隣飲食店によるお弁当の出張販売や、レンタルスペースや講座の会場など、市民の皆様との交流の場としても活用されています。

誰でも利用できるコミュニティライブラリー
 バスの待ち時間に、本を読むことができる本棚を設置。八女出身の著名人
 や作家の本、八女の高校の図書委員選出の本など、中学生から大人までが
 楽しめる幅広い本を置いています



ほかにもまだまだ工夫があります

大自然や、歴史、
 伝統をつないでにぎわうまち
 八女のコインは
ロマンです。

ROMAN COUNTER	ユーザー数	スポット数	ロマンの総流通量(直近12週間)
	7122	281	8726046

※ランキング等の全ての統計は過去12週間のデータを毎日更新しています。

人気の体験

ACTIVITY



福島×黒木 謎解き巡り
謎解き達成！ロマンくじに挑戦する🍀
●-100
🕒 2024/02/23 12:00 ~ 2024/03/10 18:00
👉 あげる



supported by まちのコイン
福島×黒木 謎解き巡り
【謎解き巡り】問題3
●-50
🕒 2024/02/10 00:00 ~ 2024/03/10 23:59
👉 あげる

協力してくれてありがとう！
お礼に 50 ロマン 差し上げます



まちのコイン

西鉄バス久留米（株）八女支社
CO2削減・持続可能なまちづくりにつながる西鉄バスに乗ってくれてありがとう！
●+50
👉 もらう



スポット

SPOT



カフェ・喫茶
ao cafe



町家・職人・本
Craft Inn 手 [té]



神社仏閣
大袖公園



コミュニティスペース
福岡県立八女農業高等学校



ファッション
手作り雑貨mojoca



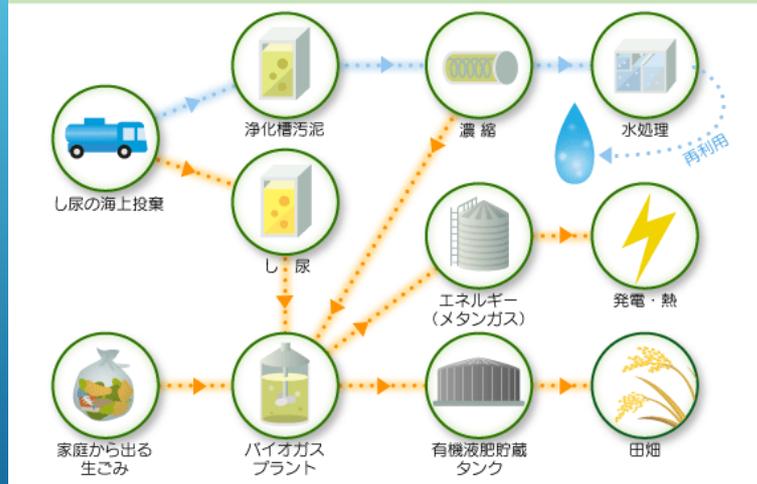
あすひと

[すべてみる \(281スポット\) >](#)

おおき循環センター “くるるん”



バイオガスシステムのフロー



台所と土と野菜の新たな関係



紙おむつのリサイクルやってます



- ・町指定袋（1袋10枚入りで150円・15リットル製）のごみ袋に入れて出す。
- ・紙おむつ、パット、お尻ふき（ウェットティッシュ）以外のものは入れない。
- ・汚物はできるだけ取り除き、トイレで処理する。
- ・ごみ袋の口をしっかり結んで、各行政区または環境プラザ（五反田地区）にある紙おむつ専用回収ボックスに入れる。



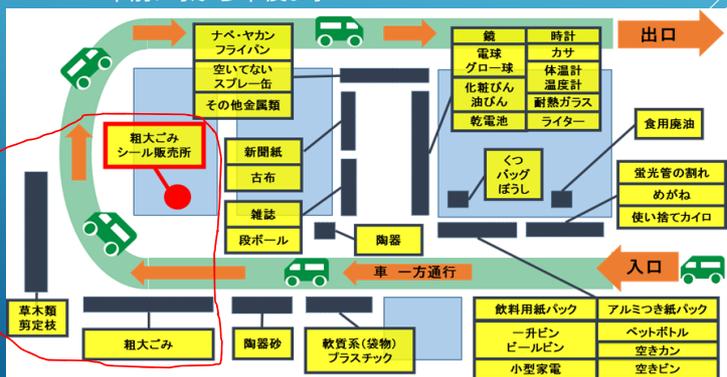
H13年4月に町民の生活ごみ全般の拠点回収施設として開場した「リサイクルセンター」はH23年4月より「大木町環境プラザ」と名称を改め、燃やすごみ以外の資源ごみや粗大ごみを回収しています。

再資源化が可能なごみで、大木町では27品目を資源ごみとして分別収集しています。

燃やすごみ以外のごみは全て持ち込み可能です。町民の方に限りごみを出すことができます。基本的に費用は無料です（粗大ごみ・剪定枝は有料）。

受入日時：火曜日から金曜日（祝日を除く）、日曜日の午前9時から午後0時

有料ゾーン



みやま市バイオマスセンター

「ルフラン」

を紹介します!

Refrain



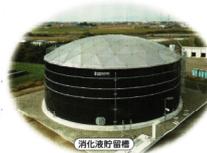
みやま市バイオマスセンター「ルフラン」は循環のまちづくりの拠点施設です。



みやま市バイオマスセンター「ルフラン」では、一日当たり家庭・事業系生ごみ10トン、し尿42トン、浄化槽汚泥78トンの合計130トンを受け入れ、生ごみなどを分解し、メタンガスを生産させます。発生したメタンガスを利用してコージェネ発電を行い、施設内の電力と温水として活用します。発酵後の液体は、液肥として水稲、麦、ナス、菜種、リンコン、稲などの栽培に利用します。



みやま市バイオマスセンター「ルフラン」は従来型のごみ処理施設とは違い、生ごみなどをバイオマス資源として循環利用するための施設です。更に、循環のまちづくりの拠点として、循環型社会などを学ぶ、安全安心な農産物の産地地消を推進し、豊かな地域食料の提供、地域住民の皆さんが思い、集うための機能を持った施設です。



サテライト液肥貯留設備



みやま市長 松本 盛人

2011年3月11日に発生した東日本大震災における原子力発電所の事故は、日本全国で地産の農産物の再生可能エネルギーを求め、再生可能エネルギーの導入可能性を調査し、生ごみ・し尿等のメタン発酵発電を利用した資源循環プロジェクトを推進しました。

発酵開始から7年の歳月をかけた市民の皆さんのご協力により、バイオマスセンターが完成しました。

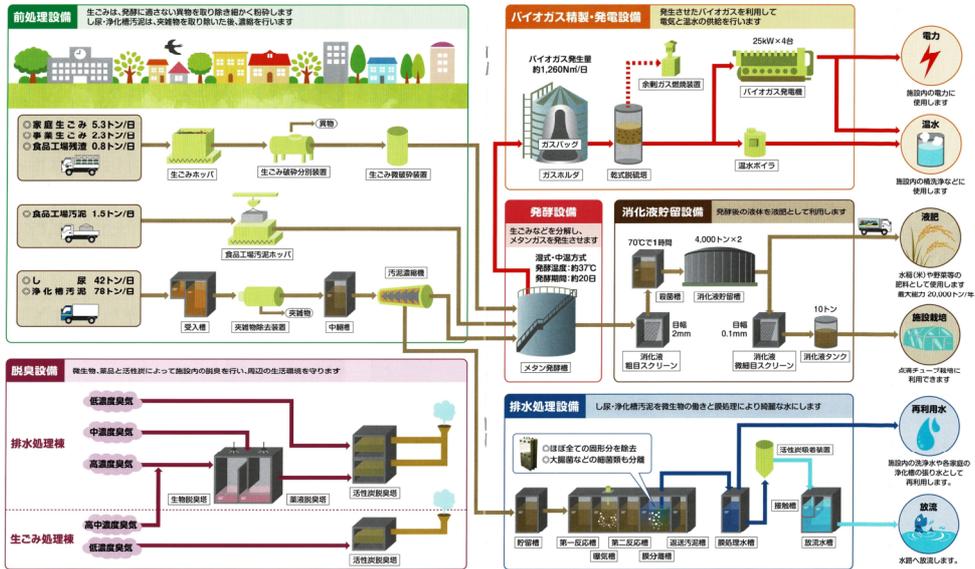
みやま市バイオマスセンター「ルフラン」は、2018年3月に開校となった山南小学校の専科施設として、校舎は環境研究室、食品加工所、カフェ、シアタースペースとして、みやま市の自給自足資源循環のまちづくりの拠点として新たな施設を築いています。

私たちがごみを分別し、資源として活用すること、地域でエネルギーや食料を作りだし、それを消費すること。そうした一人ひとりの行動が、みやまに好循環をもたらし、子どもたちのよりよい明日を築きます。

市民の皆さまと心を一つにして環境をよりよいまちづくりに取り組んでいく所存です。今後とも関係各位のご協力をお願い申し上げます。

メタン菌のカゴ 生ごみやし尿がエネルギーと肥料に変身!

バイオマスセンターは生ごみなどを資源に変える秘密兵器。その仕組みは、微生物(メタン菌)がタンクの中で生ごみなどを分解し、バイオガスと有機物の原料を作り出す。



バイオマスセンターの 主要設備を紹介します!



バイオマスセンターの効果



管理室、研修室は、旧山川南部小学校の校舎を改装して利用します



バイオマスセンターの効果
 ☆ごみ処理コスト削減
 新焼却炉の建設コスト削減
 焼却灰の埋立場の延命化
 ごみ焼却コストの削減
 ☆地球温暖化の防止
 二酸化炭素排出量が年間2,012トン
 導入前に比べて焼却ごみが半減
 ☆電力・温熱の生成
 施設の電力の60%をまかないます。
 ☆循環型農業の推進
 液肥散布
 化学肥料より大幅なコスト削減
 ☆雇用の促進
 生ごみ収集
 バイオマスセンター運転・管理
 液肥散布

稼働実績値

年度	し尿、浄化槽汚泥、			
	生ごみ搬入量(t)	発電量 (kWh)	液肥生産量 (t)	液肥消費量(t)
2019年	39,715	465,498	11,067	9,507
2020年	39,962	415,738	11,531	10,772
2021年	39,742	370,404	10,904	11,338
2022年	39,505	385,689	10,885	11,127

みやま市でも おむつ回収やってます

紙おむつの分別にご協力ください



環境衛生課 環境衛生係 (tel.64-1521)
 市では、平成30年10月より紙おむつの分別収集を行っています。おむつ類は、専用の回収袋または回収ボックスに入れて回収いたします。
 ■紙おむつの分別収集
 紙おむつは、専用の回収袋または回収ボックスに入れて回収いたします。
 ■紙おむつ専用回収袋
 紙おむつ専用回収袋は、市内39カ所に設置しています。
 ■紙おむつ専用回収ボックス
 紙おむつ専用回収ボックスは、市内39カ所に設置しています。
 ■紙おむつ専用回収袋・紙おむつ専用回収ボックスの回収方法
 紙おむつ専用回収袋・紙おむつ専用回収ボックスは、回収日当日に回収いたします。回収日当日は、回収ボックスに紙おむつ専用回収袋・紙おむつ専用回収ボックスを入れてください。回収日当日は、回収ボックスに紙おむつ専用回収袋・紙おむつ専用回収ボックスを入れてください。

右のQRコードからダウンロードできます(または、各課ストアで検索)。
 ダウンロード後、新規登録を選択→確認画面→みやま市→町→校区→行政区で、お住まいの行政区を選択してください。
 App Store Google Play (Phone/iOS) Android 版

ごみ分別アプリで回収場所が確認できます

ご清聴ありがとうございました